

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 3月 1日

公表: 令和 5年 3月 27日

事業所名 ももの木

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	0	・活動内容に応じて機の配置等を変えている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	・常勤換算よりも人員を多く入れる努力をし支援力を上げるようにしている ・小学生、中学生、高校生がいるので安全に過ごせるように工夫しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	1	・ケース会議などでPDCAサイクルを用いながら会議を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	0	3	・データ化を行い改善できる点は改善するように努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2		・現在は第三者評価は実施できていないが、今後実施していきたいところではある
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・社内、社外研修などには積極的に参加するよう努めている ・グループ別に研修制度を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・文字や懇談でニーズの掘り起こしとデイでの様子を伝えつつサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	2	・社内のアセスメントツールを用いている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	・1か月単位で曜日で活動に偏りが出ないように立案している。 ・いろんなことに取り組みめる活動を考え行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・事前にスタッフ同士で意見を出し合い固定化しないように行っている。 ・マンネリ化しない様に工夫している ・以前やったような内容でも一部改良をしたり、以前の反省を踏まえてマンネリ化しないよう努めている ・グループで活動をかんがえることにより偏りが出ないように配慮している。 ・いろんなことに挑戦、体験できる活動を考え行って工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	・特に長期休暇では長時間デイサービスの利用をすることが考えられるため活動を2つ行うなど内容を考えながら立案している ・間延びしないように長期休暇は活動を2つ行うようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・個別活動と集団活動を適宜組み合わせで行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・支援開始前に利用者の様子などにも注意して活動を考えている。 ・活動等の打ち合わせの時に利用者の最近の状況なども話しています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	1	・当日、時間などで話し合いの場が設けられないことがあるので翌日には必ず振り返りを行っている。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	2	・業務日誌等で問題点などを記載し、のちの円滑な活動に結びつけている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 3月 1日

公表:令和 5年 3月 27日

事業所名 ももの木

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・ケース会議、モニタリング会議を通して利用者の計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	0	2	・放課後等デイサービスの通則に基づいて活動の立案を行っている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	2	・児童発達支援管理責任者又は主任が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	1	・社内LINE Worksを用いながら他部署間との連絡を密に行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	2	3		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	0	3	・系列の児童発達支援事業所を使っていた方は、当時の様子を伺ったりして支援のヒントとしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	0	3	・担当者と話し合う機会があれば情報共有をしている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	3		・現状はあまりないが、今後は行なっていったらと思っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	2		・以前はあったがコロナ禍で機会がなくなってしまった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	0	3	・社内で職員が出席している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・ケース会議などで支援の仕方を共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	0	4	・ペアレントトレーニングという形ではないかもしれないが、保護者の方への助言、相談は随時行っている ・個別で対応している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	2	・契約時や個別支援計画を立案したときに児童発達管理責任者が説明しに行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	2	・デイでの支援の方法などをお教えしたり、家庭での過ごし方などを相互の情報共有を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	4		・コロナ禍もあり、以前のようにまた実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	1	・年に一回は体制状況等を会報ですべての利用者宅に出している	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 3月 1日

公表: 令和 5年 3月 27日

事業所名 ももの木

チェック項目		はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35 個人情報に十分注意している	5	0	0	・鍵付きのロッカーに保存している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	・話し方や本児の性格にも考慮している	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	2		・コロナ禍のためここ数年実施できていないが、また状況を見ながら実施していきたい。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	1	防犯に関しては中川警察の方も来てくださりすべての建物を見ていただいている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	・月に一回は必ず実施している ・毎回内容を変え、大雨、地震、不審者などの対応を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	・デイでも、全体研修でもグループ研修でも行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	・個別支援計画書に記載しており非代替性、一時性、切迫性の時と研修しており、記録をとるようにしている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	2		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	・書面上にのこしていつでも見れるようにしている	

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 27日

事業所名 ももの木 保護者等数(児童数)23名 回収数 17件 割合 74%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1	0	2	・外へ出かけたり室内での活動も楽しく参加できているようです。 ・部屋が広くて、のびのび過ごせました。 ・活動の様子を見たことがないのですが、何度か伺っていますが良い施設だと思います
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	2	0	2	・良いと思います。 ・帰りの引き渡しの際に様子を教えてくれるので、よく見てくださっていると ・小学生からずっとお世話になってい ますが、本当に良くていただいでい ます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1	0	6	・手すりがあり、整備されてました。 ・必要な所には付いていると思います。 ・事業所内部を見たことがないため ・うちの子は肢体の障害がないのでその 観点で観察したことがありませんで した
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	17	0	0	0	・課題は適切でした。 ・スタッフのみなさんが頑張ってくだ さっていると感じる ・聞き個人の課題や懸念等の取りはこ まめにさせていただいていると思いま す
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	1	0	0	・車でのお出かけや公園遊びなど楽し んでいると思います。 ・様々な支援があり助かりました ・色々工夫してくれていると思いま す。 ・いろいろなことを計画してくれるので 楽しいと思う ・いつも楽しめるプログラムを考えて下 さりありがとうございます。 ・色々なことを体験させていただいて ます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	12	・様々な支援があり、有難いです。 ・コロナ状況を考えつつ、その機会が もつけられるのであれば、様々な子 ども達と関わることで、お互いに成長 でき、よいのではないかと思います。 ・避難訓練で小学校に行くと聞いて るので、その時に小学校の生徒さんに 会ったりしてるのかなと思います。 ・アシストの中で交流があればいいか なと思います。
保護者 への	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	3	0	0	・説明をされたと思います。 ・わかりやすく教えていただいで助 かりました。 ・支援の仕方や内容をこまめに話した りしてくれています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2	0	0	・ヘルパーさんと情報共有して、支援 をして頂きました。 ・送迎の時など今日あった事や、やっ た事など教えてくれます。 ・送迎時にその日の様子を伺わせて 頂き、嬉しいです。発達についてや課 題については、利用計画の更新の際 に管理者の方と話をさせて頂いていま す。他の正規職員さんともお話ができ る機会があるとさらに有難いかなと思 います。 ・お迎え時に報告いただいています。 ・連絡帳も、送り迎えのときも色々教 えていただいでます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	0	0	・日々、やりとりして悩みを解決してい きました。 ・気になる事があったりして相談等し たら聞いてくれてアドバイスしてくれ ます。 ・体調面など気にかけていただいでま す。 ・連絡帳も、送り迎えのときも色々教 えていただいでます

